

## 会報

No. 27 (第 1580 回) 2022 年 5 月 18 日 (水) 18:30～

第 2820 地区 新井和雄ガバナー 地区スローガン “Think Globally Act Locally”  
(地球の未来を思い地域社会に貢献しましょう)

2021-2022 石井秀明会長スローガン「今までの活動に感謝し、これからの奉仕活動を広げよう」

### 本日のプログラム

- ◆ 中村パストガバナー、清水繁元幹事長、橋本和一郎元事務局長慰労会 (親睦活動委員会)

### 4月27日例会報告(第1579回)

#### ◆ 次年度テーマについて

報告者：橋本壽郎次年度会長



**\* ガバナー公式訪問：8月17日 地区大会：10月29～30日**

東海那珂ロータリークラブの年度テーマ

「楽しい奉仕活動で輪を広げよう」と致します。

奉仕活動があるからこそ、親睦活動も意義があるように思います。

ロータリーへ入会すれば1人ではできない奉仕活動も、クラブの仲間と実行できる。

社会・地域貢献をすることによって、自己満足感も満たされるのではないのでしょうか。

クラブ内奉仕・職業奉仕・社会奉仕・国際奉仕・青少年奉仕・公共イメージなどを通じて、各会員に積極的に参加してもらえ環境作りが必要になってきました。

新会員も含めての家庭集会の開催・委員会を超えての協力体制を構築することによって、楽しい奉仕活動を実現できると確信します。

活動方針

1. 会員増強と退会防止に努めます。(純増3名以上)
2. 新しい地域での奉仕活動を増やす。
3. 必要に応じて通常例会と Zoom 例会を開催します。
4. RI 会長賞へのチャレンジ
5. 会員相互のコミュニケーションになる企画推奨します。
6. インターアクトの支援と他クラブとの交流を推奨します。
7. 例会数：月3回(基本的に昼2回・夜1回)程度とします。

次年度以降に向けて

1. 委員会構成について  
 パスト会長も理事や委員長に就いて頂かないと構成ができなくなるので、積極的に協力をお願い致します。
2. コロナ禍の行方がわからないので、例会や移動例会、奉仕活動に支障がでる可能性があります。できるだけ会員参加重視でいきますので、協力をお願い致します。
3. 地区補助金と環境保全活動について  
 ロータリー財団地区補助金については若草園での奉仕作業を申請致しました。  
 環境保全活動は大野ガバナーエレクト方針で9月18日開催されます。  
 (クラブの自主性を尊重しての海岸・河川での清掃作業になります。フォトコンテストも11月開催されますので、協力をお願い致します。)
4. 米山記念奨学会について

ご寄付は奨学事業に	
・寄付は前年度から7,500万円減	
寄付金総額：13億3,600万円	配当金 総子収入 90,000円 48,679円
収入	普通寄付金 425,036円 特別寄付金 911,285円
事業費計：14億6,200万円	前期正味財産減少額 33,183円
支出	奨学金 1,240,413円 補助金 22,000円
利息・管理費	管理費は支出の約4% 45,790円 (単位:円)

2820地区 22年度奨学生出身国  
 中国7・ベトナム4・ネパール2・韓国1  
 台湾1・インドネシア1・マレーシア2  
 モンゴル3・スリランカ1・ウズベキスタン1  
 オランダ1・コロンビア1・ミャンマー1  
 バングラデシュ1 (男子13:女子13)

地区目標：¥25,000/人(普通寄付5,000円+特別寄付20,000円)

5. 地区大会とIMをメイクアップとする。
6. 事業計画と前期事業報告及び後期事業計画を各1回のクラブ協議会で対応する。



## ◆ 新入会員へ四つのテストセット贈呈



石井秀明会長（左）と鈴木正人新入会員

## ◆ 幹事報告

報告者：厚見和則副幹事



地区大会の最終出欠を回覧しております。ご確認ください。  
尚、駐車場代が別途かかりますのでご理解ください。

## ◆ 出席報告

報告者：海野宏幸出席委員長



会員数	出席免除者数	対象 会員数	出席者	欠席者	出席率 (%)
37	5 内出席 2名	34	29	5	85.29

出席免除者（敬称略）：下線は例会 出席  
清宮武雄、高橋 昭、中井英一郎、大部 泉、瀬谷利雄

## ◆ ニコニコボックス

報告者：富永康修ニコニコボックス委員長



## 『よろこびの言葉』

### ◆ 高阪 裕二

久しぶりのリアル例会参加できてうれしいです。

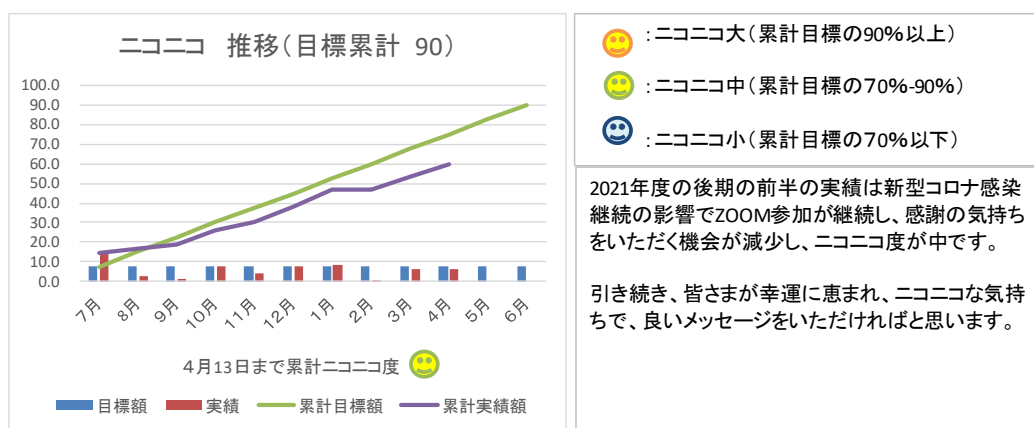
### ◆ 富永 康修

卓話興味深く聞かせていただきます。

(以上2名)

### 【4月13日までの実績報告】

ニコニコボックスを通じて、皆様の感謝の気持ちを頂きました。4月13日までの実績としては、以下に示す通りです。今後ともご協力をお願いします。



### ◆ 親睦活動委員会報告

報告者：大越正彦親睦活動副委員長



5月18日、水曜日、18:30より、ウエストヒルズ水戸にて中村澄夫パストガバナー、清水繁元幹事長、橋本和一郎元事務局長の慰労会が開催されますので、奮ってご参加下さい。

◆ 新入会員卓話：桐嶋健二会員



JCO

## JCOの概要

株式会社ジェー・シー・オー

2022年4月27日

## はじめに

1999年9月30日に当社臨界事故が発生し、今年で23年になります。

この事故により、周辺住民の皆さまをはじめ、関係機関の皆さま、並びに広い地域の方々に対しまして、平穏な生活を乱し不安と恐怖を感じさせるとともに、社会的混乱と原子力に対する不信を生じさせてしまいました。

当ロータリークラブのメンバーの皆様、ご家族、会社にも多大なご迷惑をおかけしました。

あらためて深くお詫び申し上げます。



## 会社の概要

- ▶ 所在地  
茨城県那珂郡東海村石神外宿2600
- ▶ 沿革  
1973(昭48)年 住友金属鉱山(株)(SMM)  
核燃料事業部東海工場操業開始  
1979(昭54)年 日本核燃料コンバージョン(株)(子会社化)  
1998(平10)年 (株)ジェー・シー・オー(社名変更)
- ▶ 資本金  
10百万円(事故前 1,000百万円、事故後減資)
- ▶ 従業員  
43名 (事故前 約160名)

220427 JCO概要(東海那珂ロータリークラブ卓話)

3

## 敷地の地図

Google

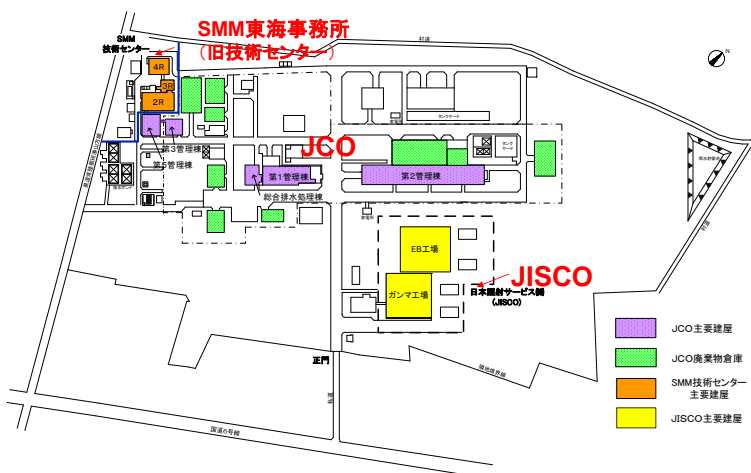


画像 ©2019 Google, 画像 ©2019 CNES / Airbus, Digital Earth Technology, Maxar Technologies, 地図データ ©2019 100 m

220427 JCO概要(東海那珂ロータリークラブ卓話)

4

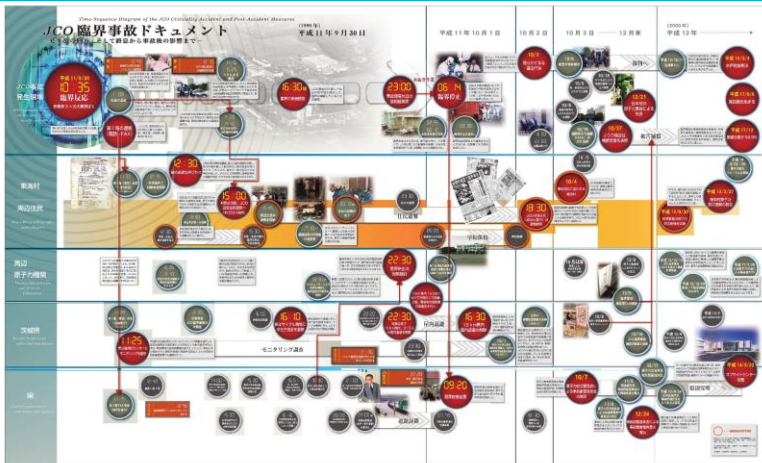
## 敷地の現況



220427 JCO概要(東海那珂ロータリークラブ卓話)

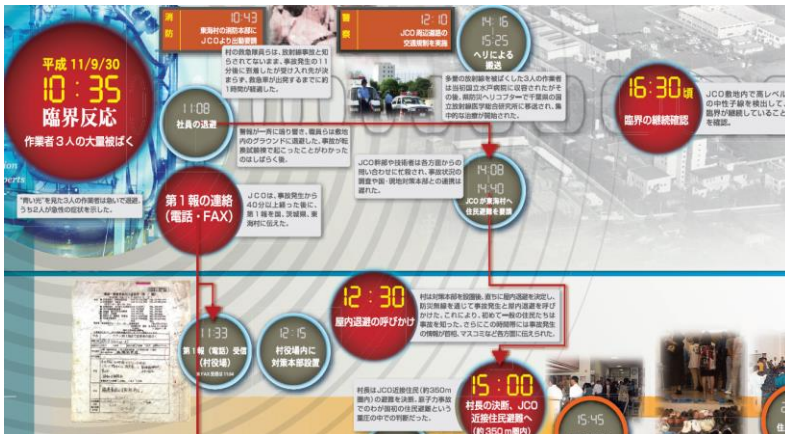
5

## 事故発生時の経緯(1)



JCO臨界事故ドキュメント(東海村 JCO臨界事故展示(パンフレット))  
220427 JCO概要(東海郡珂ロータリークラブ卓話) 6

## 事故発生時の経緯(2)



JCO臨界事故ドキュメント(東海村 JCO臨界事故展示(パンフレット))  
220427 JCO概要(東海郡珂ロータリークラブ卓話) 7

## 事故発生時の経緯(3)

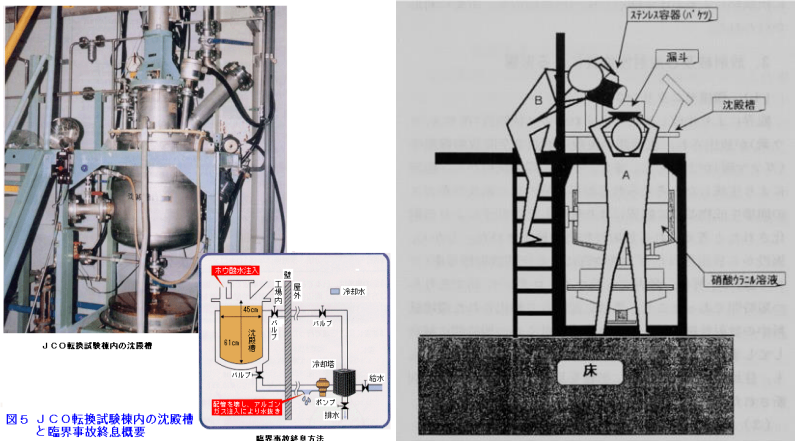


図5 JCO転換試験機内の沈殿槽と臨界事故終息概要  
【出典】(社)茨城原子力協議会; 原子力広報「東」No.101(1999年11月)および科学技術庁(現 文部科学省)ニュースレター(1999年10月15日)  
日本原子力学会誌, Vol.42, No5(2000) "原子力安全委員会ウラン加工工場臨界事故調査委員会報告の概要"



## 事故発生時の経緯(4)



JCO臨界事故ドキュメント(東海村 JCO臨界事故展示(パンフレット))  
220427 JCO概要(東海郡珂ロータリークラブ卓話) 9

## 事故後の主な経緯

臨界事故発生 '99/9/30 → 臨界終息 '99/10/1

- 補償窓口開設・補償対応 '99/10/4~'12/3/31  
→補償対象 約7,000件/支払補償額 約150億円
- JCO企業行動計画の策定、公表 '00/2/25
- 加工事業許可の取消し(行政処分) '00/3/28  
→使用許可に基づき各種作業を実施
  - ①工程に滞留したウラン(U)の回収
  - ②貯蔵中のUを関係先へ搬出(総搬出量 約260トン-U)
  - ③U含有物(U廃棄物・U残渣等)の整備
- 再転換加工事業の再開断念公表 '03/4/18
- 第3管理棟(事故現場)の設備撤去 '05/6~'06/3

220427 JCO概要(東海郡珂ロータリークラブ卓話)

10

## 第3管理棟(事故現場)の設備撤去工事

沈殿槽撤去  
開始の様子



(2005年6月  
~2006年3月)



撤去工事前



内部の様子

撤去工事後

220427 JCO概要(東海郡珂ロータリークラブ卓話)

11

## 事故後の業務(1)

### 1. 原子力施設の維持管理

- 旧加工施設の管理（日常点検、定期点検）

排水/排気設備稼動  
管理区域や周辺監視区域  
の放射線管理



- ウラン廃棄物の保管管理

加工事業(操業)で発生したドラム缶:約7,100本  
+ 施設の維持管理及び設備解体で逐次発生  
⇒保管ドラムの点検整備、減容処理、分別、詰替え等

- 海洋放出専用排水管(約8 km)の維持管理

220427 JCO概要(東海那珂ロータークラブ卓話)

12

## 事故後の業務(2)

### 2. 将来の廃止措置に向けた準備

#### 1) 不要な設備撤去及び管理区域解除の工事

- 施設内の旧加工設備を解体撤去した後、建屋内の除染を実施(管理区域解除→原子力施設縮小化)

・・・ 2015～2025年度予定



撤去前



撤去後

第2管理棟の設備撤去例

220427 JCO概要(東海那珂ロータークラブ卓話)

13

## 事故後の業務(3)

### 2. 将来の廃止措置に向けた準備

#### 2) 保管溶媒の焼却処理(完了)

- 焼却設備を第1管理棟内に設置し、2015年3月に運転開始

- 104m<sup>3</sup>(SMM分44m<sup>3</sup> + JCO分60m<sup>3</sup>)

の保管溶媒の焼却処理

⇒処理完了(2020/4)

⇒設備撤去完了(2021/5)



焼却処理設備

220427 JCO概要(東海那珂ロータークラブ卓話)

14

## 事故後の業務(4)

### 2. 将来の廃止措置に向けた準備

#### 3) ウラン残渣のウラン回収処理委託

##### 【ウランプロジェクト】

- ・保管ドラムのウラン濃度、不純物等データ整備
- ・保管廃棄物及びウラン汚染物からウラン回収が可能な物(ウラン残渣)を選別し、ウラン回収処理を委託するために海外へ搬出中



220427 JCO概要(東海那珂ロータリークラブ卓話)

15

## 長期計画

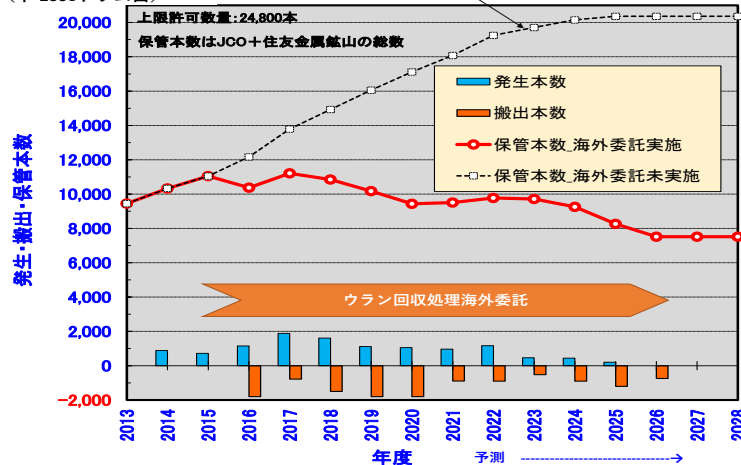
	年度	2015	2016	2017	2018	2019	2020	2021	2022	2023	2024	2025	2026	2027
<b>JCO</b>														
1 管理区域内施設 設備撤去～管理区域解除			▼本格解体着手											
2 焼却処理(保管溶媒)							2020年4月約104m <sup>3</sup> の焼却完了							
3 ウラン回収処理海外委託(搬出・輸送) 主対象:ウラン付着金属 約8000本 高ウラン濃度残渣 約4,000本														
4 廃棄物管理、データ整備														全廃棄物搬出完了まで その他のウラン含有物 約8000本
<b>住友金属鉱山(株)技術センター →東海事務所(2018～)</b>														
管理区域内施設 設備撤去～管理区域解除						原子力施設廃止措置完了・東海事務所発足								
不要施設の撤去														

220427 JCO概要(東海那珂ロータリークラブ卓話)

16

## ドラム缶保管本数の推移予想

(本-200eドラム缶) ウラン回収処理海外委託を実施しなかった場合、保管量は許可数量の上限近くへ



220427 JCO概要(東海那珂ロータリークラブ卓話)

17



## 目標とする姿(2025年度末)

ウラン廃棄物を搬出終了までの管理業務に特化



220427 JCO概要(東海那珂ロータリークラブ卓話)

18

## 終わりに

原子力安全委員会 臨界事故調査委員会  
委員長所感 (結言にかえて)

事故の原因を除去する方法を考察する際に遭遇した二律背反

- A. 安全性を向上させると効率が低下する。
- B. 規則を強化すると創意工夫がなくなる。
- C. 監視を強化すると士気が低下する。
- D. マニュアル化すると自主性を失う。
- E. フールプルーフは技能低下を招く。
- F. 責任をキーパーソンに集中すると、  
集団はばらばらとなる。
- G. 責任を厳密にすると事故隠しが起こる。
- H. 情報公開すると過度に保守的となる。

長期的視野に立って原子力行政を考えると、これらの二律背反を解決することが重要、**原子力技術発展のための解決すべき目標群。**

原子力安全委員会 ウラン加工工場臨界事故調査委員会報告の概要 (平成11年12月24日)

220427 JCO概要(東海那珂ロータリークラブ卓話)

19

## ◆ 会合報告

東海那珂ロータリークラブ理事会 御中

報告者氏名： 島田 智和

1. 会 合 名 日立港 RC45 周年記念式典
2. 形式及び目的 リアル開催
3. と き 2022年4月23日(土) 15:00~16:00
4. と ころ 日立オリジンパーク
5. 主 催 者 日立港ロータリークラブ
6. 出 席 者 石井秀明会長・島田智和幹事

次回例会：5月25日(水) 18:30~  
クラブ協議会

例会を欠席する時は、必ず前日 12:00 までに事務局まで連絡のこと

クラブ会報委員会：委員長 橋本和一郎／副委員長 厚見和則／委員 富永康修、大久保賢二